

ERI と周辺群の活動（関口孝志）

2025 年の天文回報の観測指針を作成していて、2007年から2024年のSonotaCo Networkのデータをソノタコ氏の開発したMRaDViewerから色々な条件でERI群の出現数を調べてみました。約6年の周期の変化が見られています。天気やカメラの数の変化による影響もあると思われます。そこで、2025年の今年も多く出現があるのではないかと考えました。8月23日現在の結果をいれてあります。また、輻射点の広がりが大きいため、ERI周辺の群が関連しているのではないかと出現数の一番多かった2023年で色々とグラフ化してわかったことをまとめました。また、2024年も比較してみました。